

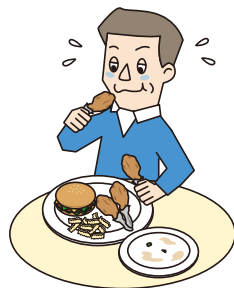
ブロモクリプチン「トーフ」 を服用されている方とご家族の方へ

ブロモクリプチン等のドパミン受容体作動薬を服用された患者さんで、衝動制御障害や前兆のない突発的睡眠(突然の眠気)がみられたとの報告があります。万が一の事故を防止するために、この薬による治療が開始された後、ご自宅にて療養を行う場合は、以下の点にご留意ください。

- 衝動制御障害が発現することがあります。患者さんやご家族の方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状が現れた場合には医師に相談してください。

衝動制御障害

社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、ギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進したりするなど、衝動が抑えられない症状があらわれること。



- 前兆のない突発的睡眠(突然の眠気)や著しい血圧降下、傾眠(ぼんやりする)がみられることがありますので、自動車の運転や機械の操作、高所作業など危険を伴う作業をしないでください。



この他にも、気になることやわからないことがある場合は、医師または薬剤師に相談してください。

